

愛媛・園児溺死

幼稚園、安全計画作らず

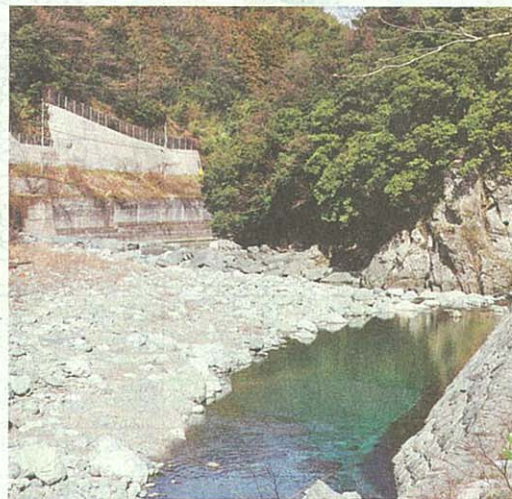
県警捜査遺族近く告訴

愛媛県西条市中奥の加茂川で昨年7月、同市の「西条聖マリア幼稚園」に通っていた吉川慎之介君(5)が、幼稚園の行事で川遊び中に溺死した事故で、幼稚園が当時、学校保健安全法で義務付けられている安全計画を作成していなかったことが14日、捜査関係者らへの取材で分かった。

握して対応策をまとめるほか、教員研修を実施するなど安全計画を作成するよう規定。西条署は、教員の避難誘導など幼稚園の安全管理に問題があった可能性があるとみて、業務上過失致死の疑いで捜査を進めている。遺族も近く、教員らが天候の変化で増水を予見できたのに、浮輪などを使用せずに川で遊ばせ、増水後も園児の捜索や救助を怠ったとして、同容疑で告訴する。

でいた。浮輪や救命衣などはなかった。水位が約1メートルまで上昇したのは約2分後。園児3人が流れ、このうち慎之介君が約150メートルの川底に沈んでいるのが見つかり、死亡した。慎之介君は当時、幼稚園の「お泊まり保育」で現場近くのレジャー施設に滞在する予定だった。川遊びの際は教員8人が引率していたが、事前の下見をしていなかったほ

ンやホイッスルなども用意していなかった。下見をしていなかったほ



亡くなった吉川慎之介君ら園児が川遊びをしていた愛媛県西条市中奥の加茂川

捜査関係者によると、幼稚園は事前の下見をしていなかったことも判明。鉄砲水で急激に上昇したとされていた水位についても現場検証の結果などから、徐々に増水していたことが分かり、避難する時間的な余裕があった可能性も浮上した。学校保健安全法は、幼稚園を含む全ての学校の園児30人と一緒に遊ん

た。浮輪や救命衣などはなかった。水位が約1メートルまで上昇したのは約2分後。園児3人が流れ、このうち慎之介君が約150メートルの川底に沈んでいるのが見つかり、死亡した。慎之介君は当時、幼稚園の「お泊まり保育」で現場近くのレジャー施設に滞在する予定だった。川遊びの際は教員8人が引率していたが、事前の下見をしていなかったほ

ンやホイッスルなども用意していなかった。下見をしていなかったほ

と、ボーカルの歌うまねやギターを弾く姿をした。週1回ピアノ教室に通い、幼稚園へ行く前も練習を重ねた。

ピアノ好きだった慎之介君



亡くなった吉川慎之介君(遺族提供)

砕かれた音楽家への夢

歌が大好きで、将来は音楽家になりたいと願っていた夢が突然、打ち砕かれた。居間の片隅に置かれたピアノの前には、吉川慎之介君の笑顔があふれる写真が十数枚、飾られていた。

「お母さん、寂しい? ごめんね」。慎之介君がお泊まり保育で初めて両親のもとを離れて一晩を過ごすのを前に残した最後の言葉。よく仕事で家

歌が大好きで、将来は音楽家になりたいと願っていた夢が突然、打ち砕かれた。居間の片隅に置かれたピアノの前には、吉川慎之介君の笑顔があふれる写真が十数枚、飾られていた。

「お母さん、寂しい? ごめんね」。慎之介君がお泊まり保育で初めて両親のもとを離れて一晩を過ごすのを前に残した最後の言葉。よく仕事で家